

第1回三重県南海トラフ地震対策強化推進本部会議 概要

開催日時：令和7年5月20日（火）
14時55分～15時10分

○副本部長（防災対策部長）】

- ・第1回南海トラフ地震対策強化推進本部会議を始める。
- ・南海トラフ地震については、今後30年以内の発生確率が80%程度に引き上げられるなど切迫性が高まる中、県として一体的な対策を推進することを目的として、三重県南海トラフ地震対策強化推進本部を5月20日に設置した。
- ・本日の第1回会議は、南海トラフ地震に係る検討体制や庁内の取組、今後の流れについてご確認いただく。
- ・事務局より、議題1「三重県南海トラフ地震対策強化推進本部について」、議題2「南海トラフ地震被害想定について」、議題3「南海トラフ地震対策の強化に向けた取組方針に係る対応状況について」、一括して説明をお願いする。

※配付資料1～4について事務局（防災対策部次長）から説明

○副本部長（防災対策部長）

- ・ご意見、ご質問等があればお願いしたい。（意見、質問等なし）
- ・特になければ、医療保健部と県土整備部から取組方針に係る取組事例について紹介いただきたい。

※医療保健部及び県土整備部から資料4により説明

○副本部長（防災対策部長）

全体を通じて、副知事、危機管理統括監、ご意見があればお願いしたい。

○本部長代理（危機管理統括監）

- ・99の取組は、全庁で様々な取組項目があり、南海トラフ地震対策強化に向けた取組である。少しでも早くできるものは前倒しでやるということで、全庁をあげて取り組んでいただきたい。

○副本部長（防災対策部長）

- ・最後に知事からコメントをお願いしたい。

○本部長（知事）

- ・事前防災、できることをとにかくやっておく、これが大事なことである。
- ・今回、防災対策部がまとめた 80 の項目、99 の取組、これもそうであるが、一つ一つとにかく前に進めていくということが一番大事である。
- ・危機管理、災害対応というのは、行政の 1 丁目 1 番地であり、県民の命を守るというのは最大の使命である。
- ・2 点申し上げる。1 点目は、取組方針の精度を上げていただきたい。前に進めるのも当然であるが、まだ枝番号的にやらなければならないものが隠れている可能性がある。それを見つけ出して前に進めていただきたい。
- ・半年に一回くらい見直すという形になってくる。進捗状況の確認、この会議でやるということになる。これは県民との約束であり、任せたとって任せるわけにもいかないところであるので、一つ一つどこまで進んでいるか、チェックをその都度やらせていただく。
- ・2 点目、今、国も避難所にスポットを当てている。
- ・避難所を実際に設置するのは市町になる。そこで、今設置をしようとしている避難所はスフィア基準を満たしているのかどうか、それも検証する必要がある。
- ・スフィア基準を満たさないというのであれば、何をやっていくべきか、市町とよく相談をしなければならない。
- ・市町の話だからお任せしますということではいけない。国もやろうと言っているわけであるから、県としても避難所が少しでも良いところに、居やすいところになるようにやっていきたい。
- ・これは今年度、来年度もそうかもしれないが、大きな課題であると思っているので、よろしく願いしたい。

○副本部長（防災対策部長）

- ・各部局等においては、知事指示事項等を踏まえ、南海トラフ地震対策を推進していただくようお願いする。
- ・以上で、第 1 回南海トラフ地震対策強化推進本部会議を終了する。